

段階的な引退を支援するための制度

ドイツ

●制度名 高齢者パート就労促進制度

●制度概要 55歳以上の労働者の労働時間を半分まで短縮して(パート就労への移行)、空いたポストに失業者等を受け入れ、当該高齢労働者の従前手取り賃金の70%及び従前賃金ベースの年金保険料の90%を支払い、年金受給開始年齢まで雇用を確保した事業主に対し、連邦雇用庁が資金援助する制度である。

●利用実績等 高齢パート就労制度活用者数(連邦雇用庁の助成数)
約9万人(2005年)

●備考 当該制度において、雇用を継続する期間の前半はフルタイム就業し、後半は有給休暇活用により事実上引退扱いとする通称「ブロックモデル」での活用が認められており、実際、過半数がブロックモデルで利用していることから、本来の趣旨と異なり、早期引退制度として活用されているといわれている。

政府は2009年末に同制度の廃止を打ち出している。